

1. 鳥取市 2. 広島市 3. 松江市 4. 岡山市

1. 近郊農業 2. 露地栽培 3. 促成栽培 4. 抑制栽培

1. 都市機能の集中による情報通信業 2. 観光資源を活かした宿泊・飲食サービス業 3. 果樹栽培や水産業を主体とする農林水産業 4. 化学工業などの分野を中心とした製造業

1. 夏の厳しい暑さを避けるために、収穫時期を本来よりも秋から冬にかけて遅らせるため
2. 大消費地までの輸送距離が短いため、輸送コストを抑えて新鮮な野菜を大量に供給するため
3. 一つの耕地で、同じ作物を一年のうちに二度収穫して収穫量を増やすため
4. 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、市場価格が高い時期に取引するため

1. 奥羽山脈・出羽山地 2. 飛騨山脈・木曾山脈 3. 鈴鹿山脈・紀伊山地 4. 中国山地・四国山地

1. 果実 2. 畜産 3. 米 4. 野菜

1. 年間を通じて水温が非常に低く、染色後の色落ちを防ぐための冷却水として最適であったため
2. 鉄分を多く含む水質を利用することで、独自の重厚感ある色合いを表現することが可能になったため
3. 塩分を適度に含んだ地下水が豊富で、綿糸の強度を高め、速乾性に優れた製品を作ることができたため
4. 重金属が少なく硬度が低い「軟水」が豊富で、糸を晒したり染めたりする工程で繊維を傷めず柔らかく仕上がるため

1. 電気機械工業 2. 石油化学工業 3. 出版・印刷業 4. 食料品工業

1. 太平洋側から吹き込む夏の季節風が、四国山地を越える際にフェーン現象を引き起こして気温が急上昇するため
2. 冬の北西の季節風が非常に強いものの、日本海側で水分をすべて放出した後の冷たく乾燥した空気が直接流れ込むため
3. 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏と冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため
4. 対馬海流の影響を強く受け、年間を通じて高気圧に覆われる日が多く、上昇気流が発生しにくいいため

1. 四国地方最大の都市として、本州と四国を結ぶ交通の要所に位置する商業の中心地である。
2. 広大な平野を利用した稲作が盛んであり、古くから食糧供給の拠点として発展してきた。
3. 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。
4. 瀬戸内工業地域の中核として、みかんなどの果樹栽培とそれを利用した食品加工業が最も盛んである。

1. 福岡県 2. 岡山県 3. 沖縄県 4. 北海道

1. 「扇状地」と呼ばれ、水はけの良い緩やかな傾斜地を利用した野菜の栽培
2. 「リアス海岸」と呼ばれ、波が穏やかな入り江を利用した魚介類の養殖業
3. 「砂州」と呼ばれ、内側に広がる浅瀬を利用したのりの養殖業
4. 「干拓地」と呼ばれ、海を埋め立てた広大な平地を利用した稲作

1. 神戸・鳴門ルート 2. 明石海峡ルート 3. 尾道・今治ルート 4. 児島・坂出ルート

答え合わせ・解説

問1	答え 3 松江市	石見銀山遺跡は島根県に位置しており、その島根県の県庁所在地は松江市です。島根県は中国地方の中でも日本海側に位置する「山陰」に含まれる県で、歴史的な遺産を持つ一方で、周辺の県と比較して人口規模が小さいという特徴があります。
問2	答え 3 促成栽培	高知県の宮崎平野などで盛んなこの方法は、温暖な気候を活かして冬から春にかけて野菜を出荷するものです。他の産地の商品が市場に出回っていない時期に供給することで、農産物を高い価格で販売し、収益を上げる狙いがあります。対照的な言葉として、涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる「抑制栽培」があります。
問3	答え 4 化学工業などの分野を中心とした製造業	徳島県は、京阪神に近い地理的条件や歴史的な背景から、化学工業や製菓業などの製造業が非常に発達しています。全就業者に占める製造業の割合は約4分の1に達しており、これは全国平均と比較しても高い水準にあることが、この県の産業構造の大きな特徴です。
問4	答え 4 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、市場価格が高い時期に取引するため	出荷時期を他の産地とずらすことで、需要に対して供給が不足しているタイミングを狙い、農産物を有利な価格で販売して収益を上げることを目的としています。高知県や宮崎県などの冬でも温暖な気候は、この仕組みを維持する上で大きな利点となっています。
問5	答え 4 中国山地 ・ 四国山地	瀬戸内地方の少雨の背景には、二つの大きな山地の存在があります。兵庫県や岡山県などの北側に位置するのが中国山地、徳島県や高知県（太平洋側）との境に位置するのが四国山地です。これらが障壁となり、日本海側および太平洋側からの湿った空気が入り込むのを防いでいます。特に香川県などの瀬戸内海沿岸部は、この二つの山地に挟まれているため、全国的に見ても降水量が少ない地域となっています。
問6	答え 4 野菜	広島県は広島市などの大消費地を抱えていることから、新鮮さが求められる農産物を供給する近郊農業が発達しています。統計資料によると、農業産出額に占める野菜の割合は38.6%に達しており、畜産や果実、米を抑えて最も主要な生産品目となっているのが特徴です。
問7	答え 4 重金属が少なく硬度が低い「軟水」が豊富で、糸を晒したり染めたりする工程で繊維を傷めず柔らかく仕上がるため	今治市を流れる蒼社川などの伏流水は、不純物が非常に少ない軟水です。この良質な水を使用して綿糸の不純物を取り除く（晒す）ことで、綿本来の柔らかさと高い吸水性が引き出されます。地域の自然環境（水質）を活かして高品質なブランド化に成功した事例として、地理の産業学習において頻出のポイントです。
問8	答え 2 石油化学工業	愛媛県東部の東予地方と呼ばれる地域は、瀬戸内工業地域の中でも特に大規模な工場が集まる場所です。海外から大型タンカーで運ばれてくる原油などの資源を利用し、プラスチックや合成ゴム、合成繊維の原料を生産する石油化学工業が、沿岸部の埋め立て地を中心に大規模なコンビナートを形成して発展しました。
問9	答え 3 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏と冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため	瀬戸内の気候の最大の特徴は、二つの山地に挟まれているという地形にあります。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地にそれぞれ遮られます。風が山を越える際に斜面で雨や雪を降らせるため、山を越えて瀬戸内側に吹き下ろす空気は乾燥します。これにより、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多い温暖な気候となります。
問10	答え 3 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。	広島市のように、地方の政治・経済・文化の核となる都市は「地方中枢都市」と呼ばれます。広島市は中国・四国地方を代表する都市として、行政や企業の管理機能が高度に集積しています。選択肢にある「みかんの生産」は愛媛県などの特徴であり、広島市の中心的な機能はあくまでも都市としての管理・中枢機能にあります。
問11	答え 2 岡山県	東京から各都市への移動手段の選択には、所要時間が大きく関係しています。一般に「4時間の壁」と呼ばれ、新幹線での所要時間が4時間以内であれば鉄道が、それを超えると航空機が有利になる傾向があります。岡山県は東京から新幹線で約3時間強の距離にあり、空港への移動や待ち時間を含めた航空機との比較において鉄道の利便性が高いため、鉄道が約6割という高いシェアを占めています。これに対し、北海道や福岡県は航空機の割合がより高くなります。
問12	答え 2 「リアス海岸」と呼ばれ、波が穏やかな入り江を利用した魚介類の養殖業	宇和海沿岸や三陸海岸、志摩半島などに見られる複雑な海岸線をリアス海岸と呼びます。この地形は山地が沈水して形成されたため、奥行きのある深い入り江が多く、外海の影響を受けにくいwaveが穏やかです。この特性を活かし、愛媛県では真珠やタイ、ハマチなどの養殖業が古くから発展してきました。
問13	答え 3 尾道・今治ルート	広島県と愛媛県を結ぶ「尾道・今治ルート」は、瀬戸内海の島々を橋でつないでおり、「しまなみ海道」の愛称で親しまれています。このルートは、本州四国連絡橋の中で唯一、歩行者や自転車が通行できる専用道路が並走しているのが特徴です。一方、岡山県と香川県を結ぶのは児島・坂出ルート、兵庫県と徳島県を結ぶのは神戸・鳴門ルートです。